

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」
令和5年度（2023年度）授業改善セミナー



道央・情報 実施報告

令和5年10月13日（金）、北海道札幌北高等学校を会場に、道央ブロック（石狩、後志、空知管内）の教科「情報」の授業改善セミナー（教科指導講座）を開催しました。道央ブロックの各管内を中心に17名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用ください。

実施状況

テーマ

- (1) 教科・科目における探究的な学び(主体的・対話的で深い学びの充実)
- (2) ICT(1人1台端末)を活用した効果的な学習指導

1 説明 教科「情報」における情報活用能力の育成を図るための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について

【ねらい】未来社会に求められる資質・能力の育成について理解を深めるとともに、それらの資質・能力を育成するために、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるための糸口とする。



2 実践発表

【内容】教科指導スペシャリストから、科目「情報Ⅰ」における情報活用能力の育成に向けたモデル化とシミュレーションの授業実践について紹介していただいた。

3 ワークショップ

【内容】1人1台端末とクラウドサービスを活用した、モデル化とシミュレーションの指導方法を中心に、講義・演習やグループ協議等を実施した。

4 研究協議

【内容】本日のセミナーを踏まえ、教科「情報」における1人1台端末を効果的に活用した授業改善について、今後どのような見通しをもって授業改善を進めていくかについて協議を実施した。

本講座の実施により期待される効果

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- 1人1台端末を活用した効果的な学習指導の実現
- 教科「情報」における探究的な学びの充実

教科指導講座の実施状況

講義

学習指導要領が求めている育成すべき資質・能力と関連付けながら、教科「情報」における情報活用能力の育成や情報科の「見方・考え方」を意識した授業デザインに関する説明を踏まえて、自己課題等の明確化を行った。



実践発表

教科情報のスペシャリストである北海道札幌北高等学校の前田健太郎先生から、情報Ⅰにおける情報活用能力の育成に向けたモデル化とシミュレーションの教材や授業実践等について紹介いただいた。



ワークショップ

科目「情報Ⅰ」におけるモデル化とシミュレーションの指導方法について、オリジナル教材を活用した、捜査演習等を行った。なお、講師の前田健太郎先生が作成した説明資料等は、参加者に提供された。



研究協議

本セミナーを通じて参加者が持つ課題等について解決の方策が見出せたか、見出せない場合はどのような見直しをもって、今後解決に向けて取り組むかについて協議を行った。



教科指導講座参加者の声

参加者の声

- ・ 探究的な学びを問題解決を通して実現することが分かり、問題解決を教える教科が情報だということを再確認した。
- ・ Excel、スプレッドシート、Pythonなど、多様なアプリからアプローチできる方法を知ることができた。
- ・ ソルバーの機能は知っていたが、このように授業で使えるとは思っていませんでした。数学の内容との親和性も高く、よい教材になり得ると考えます。
- ・ ワークショップで今後のヒントをたくさん得ることができました。

参加者アンケートの結果（一部）

- 今回のセミナーで紹介した教材や指導方法、研究授業、研究協議の内容等は、あなたの授業において活用できますか。
 - ・ 大いに活用できる。 58.8%
 - ・ 活用できる。 35.3%
- 今回の授業改善セミナーは、あなたの今後の授業改善に役立ちますか。
 - ・ 大いに役立つ。 52.9%
 - ・ 役立つ。 41.2%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<石狩教育局ウェブページURL>

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ikk/82560.html>

